

あしや子ども風土記

芦屋の地名をさぐる

⑫

町名のいろいろ（10）

芦屋の町名は、山と海の豊かな自然環境や、古代から現代にかけて起こったさまざまな出来事が、町名に受け継がれています。

由来を考えていくことで、人々の暮らしと町名の関わりや、地域の歴史や文化の再確認をすることができると思っています。

業平町

町名の業平は、平安時代の有名な人物、在原業平（八一五～八八〇）の別荘があったと伝えられていることによります。

歌物語の名作、伊勢物語という本に、芦屋の里の美しい風景や、業平の歌が書かれています。

明治の終わりごろ、阪神芦屋駅ができて電灯がついたころから住宅地になったところです。

昭和二年（一九二七）に阪神国道（国道2号）が



芦屋川にかかる業平橋

きて、業平橋の上を阪神国道電車が走りました。小字名の平足は業平の別荘があったところと伝えられています。業平の歌碑は、大正橋のある松の内緑地にあります。



JR東海道線から見た清水町

清水町

JR東海道線と国道2号には生まれ、西に神戸市との境界があります。

昭和十九年（一九四四）一月に五反田・小里・六条の小字が合併し清水町となりました。町名の選考会では清水町をはじめ、汐見町・芦若町・寿町・三津町の五つの案があったようです。

清水という町名は、六甲山の谷あいから流れてきた、澄んだ水が湧き出るところから付けられたといわれています。町内では、湧き出る清水を井戸からくみあげて生活水として利用していたことでしょう。

前田町



前田町は、大正時代の終わりから昭和の初めにかけて、住宅地が増えたところでした。

大正十五年（一九二五）には、新教育で知られた私立児童の村小学校がありました。また、昭和二年（一九二七）に芦屋川沿いに芦屋仏教会館が開館しています。

芦屋川と国道2号に接する前田町は、むかしは田畑が多く、小字名の前田は、山手方面からみて前にある田のことです。傍示は、三条村と芦屋村との境を示し、中程は山手と浜手の間のことでした。

津知町

国道2号の南側で、西には神戸市との境界があります。津知の名前は、江戸時代の村名からきています。津知は辻の意味として、道路の交差するところで、交通上の要地といふ考えもあります。

古代の官道（国道）である山陽道も町内を通っていたといわれています。また、津知を槌（ツチ）とする説もあり、町内にある日吉神社の石のほころには、小槌のマークが彫



日吉神社

られています。今から六千年前、津知町の南側は海であったと考えられています。

芦屋仏教会館



●平成九年に発行した「あしや 子ども風土記 芦屋の地名をさぐる」を紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。
※前回の新浜町で「紹介した平成九年当時の「県立芦屋南高校」は、現在「県立国際高等学校・中等教育学校」に変わっています。

過払金請求(交渉・裁判)と任意整理は相談料・着手金ともに無料(広告)

年中無休(土・日・祝) 平日は夜9時まで相談 弁護士による直接、個別面談 阪神西宮駅スグ

早朝法律相談(平日の月・水・金午前7時から9時まで)

0120-86-3150 (予約制)

〈過払い・任意整理についての〉 (平日は毎日午後6時から8時まで) 1人30分程度 前日までに予約

弁護士による電話無料相談

0798-37-0370 (電話相談専用)

ひまわり法律事務所

検索

弁護士 4人 西宮

※携帯・パソコンのHPより24時間予約申込受付 兵庫県弁護士会所属弁護士 上原 邦彦ら4名

※弁護士費用・アクセスその他詳しくは 阪神西宮駅えびす口北徒歩3分、国道2号線沿い、明治安田生命ビル8F(兵庫県西宮市和上町5-10)

シリーズあしや子ども風土記

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所売店で販売しています。



第2集「歴史さんぽ」・第3集「植物のかんさつ」・第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」・第7集「写真で見る芦屋今むかし1」・第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。第1集「伝記・物語」は完売しました。

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしやON LINE』でご覧いただけます。